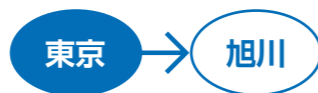


## というわけで 旭川で働いてみた



### 雪質と山に引かれ、旭川へ人が集まる都市機能も魅力

ITコンサルティング会社「フューチャー」勤務 谷村元気さん

会社は東京にあり、ITで顧客の経営を支援しています。昨年末に東京から旭川に移住し、在宅勤務をしています。地元は札幌ですが、学生時代から山スキーをしており、道北の雪質に引かれ、「いつかは旭川に」と願っていました。ネット上で仕事が完結できるように準備を重ね、移住が叶いました。通勤時間がなく、働き方はより自由になりました。オフの時間は、山遊びや飲食店巡りをしながら、そこで出会った人との交流も楽しんでいます。定期的に東京で同僚と会う機会があるので、空港が近くて助かります。テレワークを実現するには、まず仕事の流れを細分化し、可能な部分がないかを考えるのがお勧めです。



### 柔軟で、スマートな働き方 転職と移住でプライベート充実

デジタルマーケティング会社「ルシダス」勤務 小濱有希子さん

前職は札幌の旅行会社に勤めており、仕事で旭川を愛する方々に出会いました。コロナ禍で従来の働き方を見直し、「自由な時間を増やそう」と旭川で転職先を探していたところ、徹底した業務効率化で、ほぼ定時に退社できる今の会社を知りました。現在は隔週で出社と在宅勤務をしています。一定の柔軟性もあります。想像以上にプライベートが充実していて、毎週木曜日に「買物公園でおしゃべりする会」を開催したり、趣味のバイクも楽しんでいます。取引先は東京の会社が多いですが、出張も旭川なら楽ですね。札幌より家賃が手頃なことも旭川の魅力の一つ。自宅でのテレワークはとて快適で、その効果を実感しています。



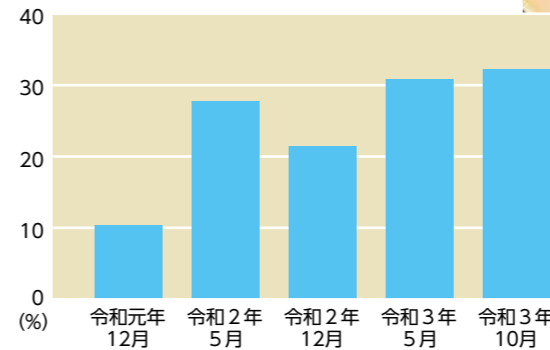
## 特集

# 新しい働き方で、自分らしい暮らし

## 旭川でテレワーク!

新型コロナウイルス感染症の影響で、働き方が変化しています。離れても仕事ができる「テレワーク」で地方への関心は高まり、市内でも受け皿が整備されるなど広がりを見せています。その現状や魅力を紹介します。

テレワーク実施率 (全国)



参考：第4回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査 (内閣府)

### テレワーク導入の主な目的

- 新型コロナウイルス感染症への対応 (感染防止や事業継続)
- 勤務者の移動時間の短縮・混雑回避
- 非常時 (自然災害、新型コロナウイルス以外の感染症流行など) の事業継続に対する備え

参考：令和3年通信利用動向調査 (総務省)

### 旭川で実施するメリット

- 日本最北の中核市で都市基盤が充実
- 四季を通して楽しめるアクティビティ
- 市内中心部から空港まで約30分! 道外へのアクセスも良好

**テレワークとは?**  
tele (遠く) と work (働く) を組み合わせた言葉です。ICT (情報通信技術) を活用し、場所や時間にとらわれずに働けるため、コロナ禍を機に浸透しました。内閣府によると、全国のテレワーク実施率はコロナ禍前の令和元年12月で10・3%でしたが、同3年10月は32・2%と約3倍に上昇しました。  
自宅の他、コワーキングスペースやサテライトオフィスなどを利用する人もいます。移動中のモバイルワークや、余暇と組み合わせられたワーケーションもあります。

**旭川はテレワークに最適!**  
旭川は買い物・医療・福祉などの都市基盤が充実する日本最北の中核市です。大雪山系に囲まれた豊かな自然の中で、一年中アクティビティを楽しめます。市内中心部から旭川空港まで車で約30分、鉄道・道路の結節点でもあります。内閣府の調査で、東京圏在住で地方移住に関心がある人にその理由を尋ねると、最多は「人口密度の低さと自然豊かな環境」、次に「テレワークの浸透」でした。  
旭川は、テレワーク移住やワーケーションに適した場所として大きな可能性があります。

## 市内のテレワーク施設

市では、令和3年度に地域交流型テレワーク施設の整備を支援しました

### コワーキングスペース <sup>ネスト</sup> NEST (宮下通19)

市内外の企業のオフィスや、個人のテレワークの場として利用できるコワーキングスペース。商談や来客対応にも使われています。交流しやすいコミュニティや起業支援の拠点としての役割もあります



運営会社「<sup>サナジー</sup>Sanagy」代表  
菊池 佳さん

テレワークは、Uターンや移住の促進につながります。新しい場所での生活をより豊かなものにするためには、地域や市民とのつながりが欠かせません。旭川の強みは、都市機能や環境といった様々な資源に囲まれている点と、コミュニティの存在です。旭川を訪れる人と地元の人とが交流することで、影響を与え合い、新たな挑戦が生まれ、それをサポートする。NESTは、そんな場になればと思います。

### <sup>ワークーベ</sup> Worcu-pet (3の8 神田館)

運営会社のセキュリティ事業の強みを生かした、ビジネス出張者が安心・快適に過ごせる空間です。「デザイン都市」旭川らしく、旭川家具を配置。最新設備や上質な内装にもこだわりました



運営会社「<sup>ラック</sup>ラック」  
新規事業開発部  
地域創生事業室デザイナー  
今田三貴子さん

コロナ禍で、テレワークへの精神的・物理的なハードルが下がりました。これからは働き方で職場を選ぶ時代になると思います。旭川の強みは、空港から中心部が近く、多くのビジネス出張者が訪れること。Worcu-petの役割は、ICTパークと連携し、旭川に居ても各地との交流や仕事が生まれる拠点になることです。会議室もあるので、イベントなどで気軽に利用してください。

#### 【詳細】地域振興課

☎25・5316

テレワークは、生産性やワークライフバランスの向上をもたらし、働く人や企業の意識を変えつつあります。さらには、地方へ人の流れが生まれる「ワーケーション」、そして移住も期待されています。地方に居ながら都市圏との仕事が可能な時代。交通の便や都市機能が整い、自然環境が豊かな旭川に、新たな人の流れや暮らし方が生まれています。

### オンライン移住相談窓口 無料

「都会での生活を見直したい」「地方の暮らしや仕事についてもっと知りたい」など、これからを考えたい方へ、オンラインで相談に応じます。旭川への移住やUターンを検討している知人やご家族にぜひ、ご紹介ください

相談日時 随時(要予約)。詳細は市☎で確認を  
※Zoom使用。通信にかかる設備や通信料は自己負担。

【詳細】地域振興課☎25・5316

